

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 油山福祉の里作成日: 令和元年10月28日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	事業所と地域とのつきあい	運営推進会議を通して地域との交流を行っているが、運営推進会議に複数の地域の方の参加を呼びかけ、地域の課題や介護相談、高齢者の安否確認等に取り組み、地域との信頼関係を築いていく。	小学生や中学生の体験学習、ボランティアを積極的に受け入れ、地域で困っていること、問題点などを検討し、地域住民と協力して高齢者や認知症の介護相談を行うなど、地域から頼られるグループホームを目指していく。	12ヶ月
2	51	日常的な外出支援	職員の勤務体制や職員不足の中で、日常的な外出支援が困難になっている。職員のやる気や勤務体制の見直しを行い、利用者の気分転換に繋がる外出の支援に取り組んでいく。	外出レクリエーションを計画し、ミカン狩りやカフェ等に出かけているが、ボランティアや家族の協力得て、日常的な外出支援が出来るように取り組んでいく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。